

職業感染ウイルスの特徴と感染暴露

当院では、職業感染防止の点から麻疹、風疹、水痘、ムンプスの抗体を職員に対してワクチン接種を行っています。これらウイルスの特徴と感染発症後の対応などについてまとめました。

疾患	麻疹	風疹	水痘	流行性耳下腺炎
原因ウイルス	パラミクソウイルス科 麻疹ウイルス	トガウイルス科 風疹ウイルス	ヘルペスウイルス科 αヘルペス亜科 水痘-帯状疱疹ウイルス(VZV)	パラミクソウイルス科 ムンプスウイルス
型	RNA	RNA	DNA	RNA
感染経路	飛沫、空気	飛沫	接触、空気	飛沫
症状	38℃前後の発熱が2-4日間続き、咳嗽、鼻汁などの呼吸器症状と結膜充血、眼脂などの眼症状のカタル期が出現。カタル期の発熱が一旦下降し、再び1日以内に39℃以上の高熱が出現し、頸部から麻疹に特徴的な発疹が出現。	発熱とともに全身に淡紅色、紅色小丘疹が出現。耳介部あるいは後頭下部のリンパ節の腫脹が特徴的。	発疹は頭皮、次いで体幹、四肢の順番に出現し、体幹に最も多い。発疹は粘膜を含め全身に出現。発疹の性状は紅斑、丘疹、水疱、痂皮のそれぞれの段階の発疹が混在する。発疹は掻痒が強く、しばしば38℃前後の発熱を2-3日間認める。	片側あるいは両側の耳下腺の有痛性腫脹。
合併症	肺炎が最多、中耳炎、クループ症候群、心筋炎、麻疹後脳炎、細菌性の二次感染、亜急性硬化性全脳炎(SSPE)(感染後数年から主従年経過後に発症)	血小板減少性紫斑病、急性脳炎、先天性風疹症候群	皮膚の二次感染症、肺炎、肝炎、髄膜脳炎、小脳失調	唾液腺、中枢神経系(無菌性髄膜炎、脳炎)、内耳(難聴)、生殖腺(睾丸炎、卵巣炎)、睪(睪炎)
潜伏期間 (内は可能性のある範囲)	8-12日 (7-18日)	16-18日 (14-23日)	14-16日 (10-21日)	16-18日 (12-25日)
感染性	発症1-2日前から発疹出現4日後	発疹出現数日前から発疹出現7日後	発疹出現2日前から発疹の痂皮化完了まで	耳下腺腫脹1-2日前から耳下腺腫脹9日後
暴露後のワクチン接種	72時間以内	効果なし(グロブリンも)	72時間以内	効果なし(グロブリンも)
医療従事者が発症した場合の就業停止期間	発疹出現後7日間	発疹出現後5日間	全ての発疹が乾燥・痂皮化するまで	耳下腺腫脹後9日間
感受性のある医療従事者が暴露した場合の就業停止期間	最初の暴露後5日目から最後の暴露後21日目まで	最初の暴露後7日目から最後の暴露後21日目まで	最初の暴露後10日目から最後の暴露後21日目まで	最初の暴露後12日目から最後の暴露後26日目まで